

自治協ニュース

防災特集

第2702特集号
発行者
八本松小学校区
住民自治協議会
H27. 6. 20

災害に備へ 三地域で避難訓練

防災マップをもとに実体験 八本松西（2防災会）・八本松みなみ・大山ハイツ



自宅から地区の集合場所へ集合する参加者（坂道の車いす移動を実体験）



地区の集合場所（班の単位）で点呼による参加者確認



誘導班員の引率で一時避難場所に班ごとに移動する参加者（国道2号線沿い歩道）



一時避難所（ミスターマックス）で班単位で点呼確認を受ける参加者



最後に八本松西第1集会所で意見交換会 写真中央はあいさつする北区の山本防災会長

八本松西（宗吉東・南自主防災会）と八本松西（宗吉北）自主防災会は5月31日合同で当学区で最初の避難訓練を実施した。

難訓練を実施した。今回の訓練は3月に作成し各家庭に配布した防災マップに記載された避難方法を住民の皆

参加者は朝9時に各自宅をスタート、5か所に設定された地区の集合場所に集まり参加人数が確認された。

その後、誘導班の指示のもと集団で一時避難場所へ9時30分までに141名の全員が移動を完了した。

得たが、多くの改善点が出され十分検討のうえ次回の訓練に活かしていきたいと語った。

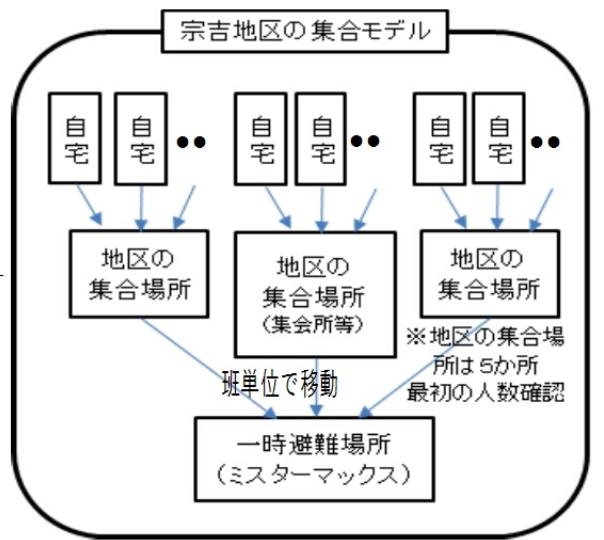
善点が出され十分検討のうえ次回の訓練に活かしていきたいと語った。

八本松西地区
**自宅から一時避難所まで
坂道水路国道沿いの避難路を体験**

防災マップを作成した3地域4自主防災会は梅雨末期の集中豪雨に備へ、それぞれ地域の状況に沿った防災訓練を実施した。

**141名が参加
整然と訓練**

**98%が訓練必要
多くの改善意見出る**



八本松地区
八本松みなみ

向こう三軒両隣組で 災害時の安否確認を訓練

八本松みなみ地区
区自主防災会は6月7日災害時に最初に行う安否確認



安否確認訓練終了後 災害時初動の心得9項目を全員で読み上げる 八本松南2ブロック3班の皆さん

の訓練を実施した。
**集合場所の細分化
迅速な安否確認実現**

今回の訓練は災害時の共助で重要な初動作業で、最初に集まる場所（地区の集合場所24か所）の徹底と班ごとの迅速な安否確認の訓練のために実施された。このため、班の集合場所が記載された防災マップを事前に各家庭に配布され安否確認を行う班長には確認用の簡単な家族カードが渡されていた。事前の家族カード用意**確実な安否確認実現**

所集まり班長がカードを用いて確認し、その所要時間はほぼ10分以内であった。時間に余裕のある班では「災害時初動の心得9項目」を全員で読み上げ訓練を終了した。また、ほとんどの世帯が訓練に参加し参加世帯率は90%で世帯数は372に上った。

向こう三軒両隣 日頃から絆を深めよう

横井防災会長は「防災訓練時だけでなく常日頃から向こう三軒両隣が安否確認チームとして人と人との絆を深めることが共助を進めるうえで重要」と語る。

大山ハイイツ地区

総合訓練を実施 避難訓練と応急措置

大山ハイイツ自主防災会は6月7日防災総合訓練を実施した。



避難開始

自宅から「班の集合場所」へ集合する参加者の皆さん



開始後2分

「班の集合場所」から「地区の集合場所」へ移動する参加者の皆さん



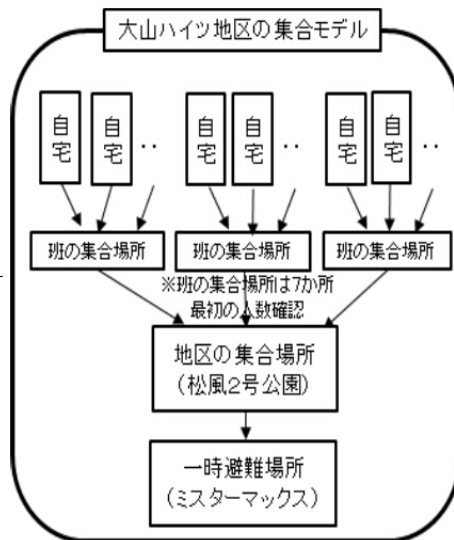
「地区の集合場所」に集合した参加者皆さん 開始後11分



消防署西分署の指導

当日は朝10時30分に地区内に7ヶ所ある班別集合場所集まり事前に作成された世帯名簿を基に班長が参加人数を確認。その後避難誘導係りが防災マップに記載された避難経路を通り地区の集合場所へ参加者を誘導した。地区の集合場所では各班から防災会長へ参加者数（合計119世帯184名）が報告された後、消防署西分署から避難時の患者輸送やAEDの使用方法等の講習を受けた。

当地域は高齢化率も高く避難経路に坂道があることから一時避難場所まで「班別集合場所」から一時避難場所まで「地区の集合場所」の2段階で移動するよう工夫されている。



訓練後、葛原防災会長は今後課題事項を整理し、秋の訓練（10月18日予定）に活かしたいと語った。